北九州工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	現代文

科目基礎情報

科目番号	0045	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	生産デザイン工学科（機械創造システムコース）	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	「高等学校現代文B」明治書院, 『生きる漢字・語彙力〈増補改訂版〉』駿台文庫		
担当教員	豊田 圭子,河田 和子		

到達目標

国語の理解能力・思考力・鑑賞力を養い、文章表現力を磨き言語活動の向上を図る。授業では近代以降の小説・評論・詩歌の学習を通して鑑賞力や想像力を育成し、主題を多角的にとらえる理解力、理論的に問題を考える思考力の向上を図る。語句・漢字学習を通して社会生活に必要な基本的な表現力・文章力を身につける。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	論理的な文章を読み、構成・展開・論旨を客観的に理解し、要約することができる。	論理的な文章を読み、構成・展開・論旨を客観的に理解することができる。	論理的な文章を読み、構成・展開・論旨を客観的に理解できない。
評価項目2	文学作品を読み、主題や人物・心情・情景描写を理解し、その効果を説明することができる。	文学作品を読み、主題や人物・心情・情景描写を理解することができる。	文学作品を読み、主題や人物・心情・情景描写を理解できない。
評価項目3	自らの考えをまとめ、作文・発表などで適切に表現できる。	自らの考えを、作文・発表などで表現できる。	自らの考えを、作文・発表などで表現できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	国語の理解能力・思考力・鑑賞力を養い、文章表現力を磨き言語活動の向上を図る。授業では近代以降の小説・評論・詩歌の学習を通して鑑賞力や想像力を育成し、主題を多角的にとらえる理解力、理論的に問題を考える思考力の向上を図る。語句・漢字学習を通して社会生活に必要な基本的な表現力・文章力を身につける。
授業の進め方・方法	次回学習する単元については、語句の読みや意味を調べ把握しておくこと。また、疑問点や自らの意見を整理しておくこと。授業は応答を中心に進めるため、問いに対して主体的に応答すること。授業中に参考図書などを紹介するので、それをもとに自らの問題意識・関心を広げることがのぞまれる。
注意点	漢字能力検定2級レベルの漢字・語彙の読み書きができる・語彙力を養うため、授業では漢字小テストを行う。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス 随想（１）	授業の進め方を把握する。 難解な語句の意味を調べ、理解する。
		2週	随想（２）	文章の主題・筆者のものの感じ方を適切に理解する。
		3週	随想（３）	筆者の考えを理解し、全体を要約することができる。
		4週	評論（１）	難解な語句の意味を調べ、理解する。構成を整理することができる。
		5週	評論（２）	意味段落ごとに考えをまとめることができる。
		6週	評論（３）	全体を通読し、話の展開をつかむ。筆者の主張を説明できる。
		7週	評論（４）	各段落から考えをまとめ、筆者の主張について要約できる。それに対する自身の考えを他者に伝えることができる。
		8週	前期中間試験	１～７週の学習内容を網羅して試験に出題し、学習内容の定着を図る。
	2ndQ	9週	試験解説 詩（１）	不正解だった箇所について、なぜ不正解だったか考え、学習内容を再確認する。 近代詩を読み、詩的表現について説明できる。
		10週	詩（２）	詩の解釈について考える。各詩人の心情・状況を理解する。
		11週	詩（３）	詩の鑑賞文を作成する。他者の鑑賞文を読み、感想を伝えることができる。
		12週	小説（１）	作品の時代背景と作者について知る。
		13週	小説（２）	通読し、難解な語句の意味を調べ、理解する。
		14週	小説（３）	構成と表現を理解し、人間心理のありさまについて考える。
		15週	小説（４）	小説の内容について、自身の感じたことを文章化し、他者に説明することができる。
		16週	前期期末試験	９～１５週の学習内容を網羅して試験に出題し、学習内容の定着を図る。
後期	3rdQ	1週	評論（１）	難解な語句の意味を調べ、理解する。構成を整理することができる。
		2週	評論（２）	意味段落ごとに考えをまとめることができる。話の展開をつかみ、筆者の主張を説明できる。
		3週	評論（３）	筆者の主張について要約できる。それに対する自身の考えを他者に伝えることができる。
		4週	小説（１）	作品の時代背景と作者について知る。難解な語句の意味を調べ、理解する。
		5週	小説（２）	作品のテーマと問題点を考える。

		6週	小説（３）	作品に関する資料などをもとに、作品の問題点を考察できる。
		7週	小説（４）	作品の解釈を行い、他者と共有できる。
		8週	後期中間試験	１～７週の学習内容を網羅して試験に出題し、学習内容の定着を図る。
	4thQ	9週	試験解説 評論（１）	不正解だった箇所について、なぜ不正解だったか考え、学習内容を再確認する。 難解な語句の意味を調べ、理解する。
		10週	評論（２）	構成を整理し、意味段落ごとに考えをまとめることができる。
		11週	評論（３）	筆者の主張について要約できる。
		12週	評論（４）	筆者の主張に対する自身の考えを論理的に文章化し、他者に伝えることができる。
		13週	短歌・俳句（１）	近代短歌・俳句を読み、助動詞などの意味を理解する。
		14週	短歌・俳句（２）	各作品の時代背景について説明、鑑賞することができる。
		15週	短歌・俳句（３）	自ら短歌・俳句を創作し、他者の作品を鑑賞することができる。
		16週	後期期末試験	９～１５週の学習内容を網羅して試験に出題し、学習内容の定着を図る。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。	2	
				代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを理解して味わうとともに、その効果について説明できる。	2	
				文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについて考えを深め、広げることができる。	2	
				文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。	2	
				鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的な文章（詩歌、小説など）の創作をとおして、感受性を培うことができる。	2	
				読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に生かすことができる。	2	
				現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。	3	
				代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。	2	
				古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができる。	2	
				代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。また、それらに親しもうとすることができる。	2	
				教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。	2	
				情報の収集や発想・選択・構成の方法を理解し、論理構成や口頭によるものを含む表現方法を工夫して、科学技術等に関する自らの意見や考えを効果的に伝えることができる。また、信頼性を重視して情報を分析し、図表等を適切に活用・加工してコミュニケーションに生かすことができる。	2	
				他者の口頭によるものを含む表現について、客観的に評価するとともに建設的に助言し、多角的な理解力、柔軟な発想･思考力の涵養に努めるとともに、自己の表現の向上に資することができる。	2	
				相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができる。また、自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。	2	
				社会で使用される言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、社会的コミュニケーションとして実践できる。	3	

評価割合

	試験	小テスト	課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	20	0	0	0	100
基礎的能力	70	10	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0